

あおぞら

発行：愛知県被災者支援センター

住所：名古屋市中区三の丸 3-2-1

愛知県東大手庁舎 1階

TEL：052-954-6722

FAX：052-954-6993

開館：月～金 10～17時



タイトル フラガール

しょう来のゆめ



(小4 根本未結 さん)

表紙に掲載する子どもの描いた絵を募集しています。詳しくは裏表紙をご覧ください。

インタビュー④

交流会に参加された時のアンケートなどに、いつもとても前向きな感想・意見を書かれている方がいらっしゃいました。幸いにもお名前が記述されていたため、それが増田奈緒子さんだと知ることができました。その増田さんに直接お話が聞きたいと、インタビューさせていただきました。

栃木県から避難された 増田 奈緒子さん

◆ちょっと長めの保養のつもりで避難

2012年8月に家族3人で、栃木県足利市から実家のある名古屋市に自主避難しました。

震災当日は震度5の揺れにも新築4年目の家は被害を受けず、ライフラインも大丈夫でしたが、テレビは映らず、ラジオや携帯電話のツイッターから情報を得ていました。幼い子を抱えていたこともあり、福島原発事故による放射能の影響に不安を感じていました。スーパーには、被災県産の野菜しかない状況でしたが、周りの人たちは無関心なように感じました。当時の感情としては「私だけがおかしいのかな?」とか、この土地に愛着のないよそ者だからなのかな〜という事を考えていました。

最初は、「ちょっと長めの保養」という感じで避難しました。その後、本格的に避難を決めて、新築間もない家を手放してもまだローンが残りました。この3年間に子どもの幼稚園探し、夫の転職などがありました。

◆幼稚園で防災について考える会を企画

放射能からの避難に関して、「共感」することと「実感」することは違うのだということを身近で感じていました。そのため、放射能の問題や避難者のことをもっと理解してほしいと、子どもの幼稚園で機会を得て、皆が参加しやすいテーマの『防災について考える会』を企画しました。津波避難も含め5人の避難者の方たちに経験を話してもらいました。引き続きお母さんたちに呼びかけ、団地の集会議場で放射能の影響や

原発の問題について考える会を企画し、何がいのか、どこが問題かといった、暮らしに即した話をしていきたいと思います。

◆一番大切なことは子どもの健康

安い物やお腹いっぱいになればと食べていたジャンクフードは止め、子どものために料理する時、おいしくて安全な食べ物をと気を付けるようになりました。

また、子ども・被災者支援法など今政治がどうなのか知ったら、それに対しての行動をとっていく。「知らぬが仏」とも言うけれど、自分にとっては知ってよかったです。今はとても充実しています。一番大切なことは子どもの健康であり、将来後悔したくない、幼稚園のママ友などと「初めの一步」を始めていこうと考えています。

この3年間の避難生活の大変さは想像に難くありません。しかしそれを語る増田さんには、悲壮感より「自然体」を感じました。悩みながらも前向きに生きる増田さんの姿勢に、母親として、女性として、自らを成長させていく素晴らしさを感じました。



(あおぞら編集委員 戸村京子)

リレートーク

震災から3年が過ぎ、愛知県に避難している方たちは今、どんなことを感じ、何を考え、何をしているのでしょうか。共感や新たな気づき、次につながる何かを見つけるきっかけになって欲しいという思いで、同じ愛知県に避難している方の今をリレー形式で紹介していきます。

今を生きる

●まだまだ不安定な感情に襲われることも

震災により人生最大の断捨離を経験し、恐怖、不安、失望といったネガティブのフルコースとの戦いと共に3年が過ぎました。断捨離の恩恵によるものかどうかは疑問ではありますが、一人息子と生活を共にし身の周りの世話をやくことができ、釜石の田舎では経験ができなかったいろいろなコンサート、野球観戦、伊勢神宮参拝等の癒しのフルコースも体験しました。

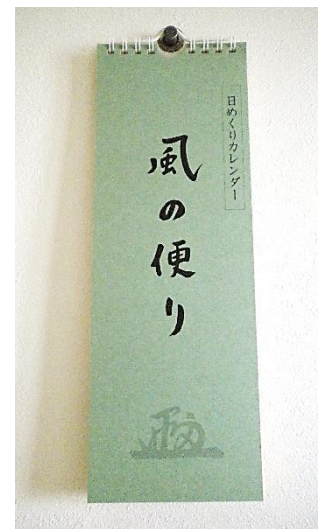
とは言え、日々の生活の中でまだまだ不安定な感情に襲われることも沢山あります。当たり前にも生活していても大変な世の中なのに築8年の家とわが子同様の愛犬を失った辛さはまだまだ断ち切ることが出来ません。頭の中に、過去の多くの引き出しが存在していて現実と絡み合って戸惑う事が多々あります。よほど欲が深いのかあきらめが悪いのか？

●「風の便り」の文章を読んで生きる力に

被災者支援センターから届けて頂いた「風の便り」という日めくりのカレンダーが、私達夫婦の師となって、そんな心の葛藤を軽くしてくれています。毎朝、声に出して文章を読み上げ1日の生きる力にしています。

過去を思い悔やむ事、あるかないかもわからないことの不安を抱く事、そんな暇があったら雑巾

がけでもして今という時を一生懸命生きる。今ここに存在する奇跡を神仏に感謝し、これまで助けてくださった全ての皆様に「ありがとう」の気持ちを忘れない。この心意気で頑張ろうかと思っています。



●人と同じように多くの動物も被災

この震災で取り上げられる事が少ないのですが多くの動物が犠牲になったと思います。

私の分身でもあるダックスのナッツが天使になってからのメッセージがネットに載っています。アニマルコミュニケーターとの内容がアップされています。「ナッツ君が教えてくれたこと」で検索していただければ出てくるはずです。純粋で深い内容だと私は思います。

是非かけがえのない声を聴いてあげてください。

(東海市在住 鈴木真砂子)

次回のリレートークは吉田拓也さんです。

交流会体験談

7月19、20日にめぐりあい交流キャンプに参加しました。私と娘で初参加させていただきました。バス2台でたくさんの人や荷物や期待を載せて、山道を登って行きました。

到着と同時に雨が降ってきましたが、魚の掴み取りの間は天に通じたのか雨が上がり、思いっきり魚を追い回すことができました。小さな子どもから小学生や大人まで、みな夢中になって捕まえられた時には最高の笑顔でニコニコしていました。宿泊は廃校となった小学校で、まるでトトロの世界に足を踏み入れたような木造の雰囲気でした。その一室には古いピアノがあり、女の子たちは披露できる音楽を緩やかに弾いて楽しんでいました。私の娘も連日練習している曲を弾いて、二階まで音が溢れて和やかな時間を過ごすことができました。

夕食はあいにくの大雨で外でのバーベキューはできませんでしたが、室内でお肉、野菜、焼

きそば、おにぎりなど、とても美味しくいただきました。美味しいのは新鮮な素材ということもありますが、気持ちの込められた料理を作るスタッフの方々のおかげであるとしみじみ感じました。余興では一人一人マイクでスピーチリレーをして、みなさんの声を聞くことができました。その後は大人で集まり、語り合いの時間を過ごしました。

次の日は朴葉寿司を作り、昼食にいただきました。流しそうめんやスイカ割りもやっていたき、子どもイベント目白押しでした。娘は見事スイカに命中し大変喜んでいました。

このめぐりあい交流キャンプは、それぞれの想いを持って生活している中、懐かしく、これから語り合える有意義な集まりでした。みなさんの声を聞くことができ、震災を体験した事を忘れてはいけないと思いました。これからの絆を深く感じることができました。

(ペンネーム りっちゃん)

スタッフ紹介 ～センター長 織田元樹～

支援センターのスタッフがどのような経緯や思いでセンターの仕事をするようになったかを紹介していきます。第3回は4人いるセンター長の1人で、特定非営利活動法人ボラみみより情報局代表の織田元樹です。

「織田さん」と呼ばれていますが、織田は旧姓で本当は高野です。結婚した時に、じゃんけんで負けてしまい妻の姓になりました。長い間、織田の名前でNPOの活動を続けてきたため、普段は織田の姓を名乗っています。

ボラみみより情報局は、ボランティアを促進することを目的に、ボランティア求人情報誌やサイトを運営しています。これまで災害支援の活動に直接かかわったことはありませんでした。しかし、東日本大震災という未曾有の災害がおこり、愛知県でできることをするために動き始めたところ、愛知県被災者支援センターの運営に立ち上げから参加することになりました。それ以来、団体の定款を変更し、積極的にかかわっています。一つひとつを積み重ねながら、活動を続けていきたいと思えます。



名古屋弁が怖かった！

「名古屋の言葉が怖かった！」東北から避難された方からそのように聞いて、私は「そうだ」と思いました。私は生まれも育ちも四国の徳島県で、20歳で名古屋に来ましたが、同じ感じを持ちました。そして、私の徳島弁はよく笑われました。

名古屋弁のどこが怖いって？叱られる感じがします。ほんの一例ですが、語尾が異様に強調されます。例えば、お店で物を買ってお釣りをもらう時に「160円お返しします」と言う時に、「**160円**お返しします」と文字が濃いところが強調されます。また、「**そう**だけどよー」という時に「**そう**だけど**よー**」と**よー**が強調されます。私はこれが怖かった。今は慣れて私も使っていますが。

余談ですが、徳島県で笑われる言葉の代表は「あー、お腹がいっぱいになった」を「あー、腹が**おきた**」と言います。その時に「お腹が空いたときは、腹が寝た、と言うのか」とよくからかわれました。

今でこそ「訛り」や「方言」は、大切にしようと言われますが、ある程度の年齢以上の方にとっては辛い経験のほうが多いでしょう。馬鹿にされている、と思うと次の言葉が出なくなります。だから引っ込み思案になりがちです。今では聴く人にとっては、本当はちょっと可笑しいだけです。理由は日頃聞かない言葉だからです。逆に名古屋弁もそのように考えて大目に見て言葉を交わしましょう。

大船渡のお医者さんでの一コマ

私は被災地支援のために岩手県大船渡市に行きました。地元の案内人をお願いして被災地を案内してもらった時、具合が悪くなり、案内人に「開業医で年寄りの医者だが、良い人だから行ってみるべ。」と言われて医者連れて行ってもらいました。

以下は、その医院での一コマです。皆さんにはこの会話がわかりますか？

入口に「**はいらっせん**」と貼り紙がありました。中に入ると、

看護師／**おぼんです。どうぞ。**※1

医者／**なじよでがす？**※2

私／**熱があるみたいなんです。**

医者／**熱はなんぼあつか？どれみてみつか。注射の1本も打っていげや。**

医者／（注射を打ちながら）**いでえか？**

医者／**ちょこつとがまんすろな。これでよくなるべがら。**※3

案内人／**どうもどうも。**※4

案内人／**帰って寝るべし、あべあべ。**※5



語訳が下にあります。ご参考にどうぞ。

※1「こんばんは、どうぞ。」

※2「どうしましたか？」

※3「少しがまんしなさいね。これでよくなるでしょう。」

※4「ありがとうございました。」

※5「さあ、帰って寝ましょう、行こう行こう。」

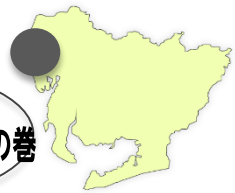
（あおぞら編集委員 瀧川裕康）



新鮮&安心な食材と出会いたい!

あいちの産直施設 お出かけガイド

第3回
西尾張・海部・津島の巻



編集:あおぞら編集部

夏の暑さも続きますが、しばらくするとやってくるのは「食欲の秋」! 「愛知県内の産地直売施設」紹介シリーズの第3弾は、愛知県の西端にあたる西尾張・海部・津島地域が舞台ですが、愛知の秋の味覚についての情報も絡めながらご紹介します。

養鶏農業協同組合が運営し、健康な鶏からできる卵や鶏肉加工品が豊富な「④うきうき村」、あゆの一夜干しや養殖あゆ等川魚を扱う、「②木曾川漁業協同組合直売施設」等個性派の直売所も要チェック!

ピックアップ

⑥JA愛知西 産直広場国府宮店

4~9月 9:00~18:00/月~土 TEL 0587-23-7951

「国府宮」駅からも徒歩で行けるこのお店は、9月前後は、朝取りで新鮮な、なす、きゅうり、尾張地方特産の「越津ねぎ」、里芋等が出回ります。大粒で名高い「祖父江のぎんなん」も、この地域の特産品で9~10月が旬。香ばしさ&もっちりした食感が魅力で、喉の痛みにもよいとされています。



西尾張・海部・津島の産直施設

※営業時間は変更になる場合があります。電話確認されると安心です。

No	施設の名称	住所	営業日	営業時間	電話
①	JA愛知西 産直広場赤見店	一宮市浅野字赤見前72-1	木~火	4月~9月 9:00~18:00 10月~3月 9:00~17:00	0586-81-2022
②	木曾川漁業協同組合直売施設	一宮市北町北方字吹埋82	月~金	あゆ一夜干し 9:00~16:00 天然あゆ9月~10月 6:00~7:00	0586-87-3222
③	JA愛知西 産直広場尾西店	一宮市三条字臺北2-1	火~日	4月~9月 9:00~18:00 10月~3月 9:00~17:00	0586-62-5275
④	うきうき村	一宮市千秋町浮野字下向得19	金~水	9:30~17:30	0586-76-7335
⑤	JA愛知西 産直広場一色下方店	稲沢市一色下方町260-1	木~火	4月~9月 9:00~18:00 10月~3月 9:00~17:00	0587-36-6780
⑥	JA愛知西 産直広場国府宮店	稲沢市国府宮2-3-8	月~土	4月~9月 9:00~18:00 10月~3月 9:00~17:00	0587-23-7951
⑦	みずとびあ庄内朝市	清須市西枇杷島町北枇杷池15-1	第3日曜	9:00~12:00	052-501-6351
⑧	青空市場	北名古屋市熊之庄大畔48	第1日曜 (1月は第2日曜)	8:30~出店品がなくなるまで	0568-26-2700
⑨	すいとびあYUYUくらぶ朝市	江南市草井町西200	第2・第4日曜	7:00~売切れ次第終了	0587-53-5111
⑩	JA愛知北まんだら青空市 (JA愛知北江南支店)	江南市古知野町熱田72	土曜	4~9月 8:00~9:00 10~3月 9:00~10:00	0587-55-2275
⑪	JA愛知北江南厚生病院朝市	江南市高屋町大松原137	火曜	10:00~12:00	0587-55-2397
⑫	ほての朝市	江南市布袋町東359	日曜	8:00~8:30	0587-55-5153
⑬	大口町朝市会	大口町伝右一丁目35番地	土曜 水曜	7:30~8:30 9:00~売切れ次第終了	0587-95-1111
⑭	蟹江町朝市部会(3)	蟹江町大字蟹江新田字勝田場17-4	日曜	8:00~9:00	0567-95-3154
⑮	Aコープとびしま店	飛島村大字松之郷一丁目52-1	月~土	10:00~19:00	0567-52-1239
⑯	朝市かもり	津島市神守町字中町15	第2・第4土曜	8:00~9:00	0567-24-2121
⑰	JAあいち海部 グリーンセンター津島店	津島市大縄町9-71-1	火~日	9:00~18:00	0567-23-3511
⑱	イオン ザ・ビッグエクストラ弥富店 産直	弥富市五明蒲原1371-4	年中無休	7:00~22:00	0567-67-5770
⑲	JAあいち海部 グリーンセンター十四山店 (菜々耕房)	弥富市鍋平三丁目55-5	木~火	9:00~18:00	0567-56-6808

●愛知県で把握しているこの地域の産地直売所は 45 施設ですが、センター登録者の居住が多い地域や営業期間が長いものを上記で紹介しました。愛知県農林政策課 (TEL 052-954-6395) が制作したインターネットサイト「あいちの農林水産 産地直売所・ふれあい体験施設」では全施設がご覧になれます。

URL <http://www.pref.aichi.jp/0000003150.html> 県内約 300 もの産直施設の情報あり。



旬のお出かけ情報

～ 秋のお祭り～



まだまだ愛知の残暑は厳しいですが、これから秋になるにつれて徐々に過ごしやすくなってきます。そして、秋は各地で伝統あるお祭りが開催される時期でもあります。今号では、主に9月に開催されるお祭りをご紹介します。ぜひお出かけください。

陶祖 800 年祭記念 第 83 回せともの祭

【日時】9月13日(土)9:00~20:00/14日(日)9:00~19:00

【見どころ】祭りの一番の目玉は、「せともの大廉売市」。名鉄瀬戸線、尾張瀬戸駅を降りてすぐの瀬戸川沿いに約200のお店が並び、あらゆる「せともの」がお値打ち価格で販売されている。「ミスせともの」3人も参加するパレードや「花火大会」などがあり、花火大会はおよそ1000発の花火が打ちあがる。夏の花火を見逃した方、特に必見！



開催日	イベント名	※	主な開催場所(市町村)	お問い合わせ先 / 電話番号	
9月	6(土) 7(日)	こまき信長お月見まつり	P	小牧山(小牧市)	小牧市役所シティプロモーション課 0568-76-1173
	13(土) 14(日)	陶祖 800 年祭記念 第 83 回せともの祭	P 花	尾張瀬戸駅前、瀬戸川沿い、市内一円(瀬戸市)	瀬戸市まるっとミュージアム・観光協会 0561-85-2730
	14(日)	田原祭り	P 山 花	田原市街地周辺(田原市)	渥美半島観光ビューロー 0531-23-3516
		第13回にしん夢まつり	花	日進市役所周辺(日進市)	日進市産業振興課 0561-73-2196
		第31回木曾川町一豊まつり		黒田小学校他(一宮市)	一豊まつり実行委員会事務局 0586-87-3618
	20(土)~ 23(火祝)	仲秋のあかり祭	P	デンパーク(安城市)	デンパーク 0566-92-7111
	21(日)	秋葉まつり	花	知立神社(知立市)	知立神社 0566-81-0055
21(日) 28(日)	東浦の駆け馬(おまんこ)		9/21 伊久智神社 9/28 村木神社	東浦町観光協会 0562-83-3111	
12(日) 26(日)			10/12 入海神社・藤江神社 10/26 稻荷神社(全て東浦町)		
10月					
4(土) 5(日)	尾張津島秋まつり	P 山	名鉄津島駅前、津島神社ほか(津島市)	津島市産業振興課 0567-24-1111	
17(金) 19(日)	名古屋まつり	山	名古屋市内中心部(名古屋市)	名古屋まつり協進会 052-972-7611	

※ P…駐車場あり / 山…山車がでる祭り / 花…花火の上がる祭り
各イベントの開催日は変更または中止となる場合もございます。
主催者にご確認のうえお出かけください。

●詳しい情報は愛知県観光協会のホームページ

(<http://www.aichi-kanko.jp/index.asp>) からご確認いただけます。



支援センターからのお知らせ

<ご自宅への訪問が始まっています>

名古屋市外にお住まいの方を対象に10月末までの期間で愛知県被災者支援センターのスタッフや保健師さん、市町村の職員などが、皆さまのご自宅を訪問させていただいています。(名古屋市にお住まいの方はすでに市の保健師さんが訪問しております。)

皆さまの健康や、生活のことなどについて、お話しいただける機会となればと思っております。ご自宅に伺う前に、センターのスタッフや市町村職員、保健師よりお電話させていただく場合もありますので、その際にご都合の良い日をお伝えいただきますようお願い致します。

全世帯を訪問し、できるだけ多くの方の様子をお伺いしたいとの思いで進めております。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



<編集後記>

●本当は「お国ことば」を使いたいですね。そういう年齢の方に集まってもらって「方言の編集会議」を始めました。面白い読み物を続けるつもりです。よかったら感想をお寄せ下さい。(瀧川裕康)

●方言は僕の感覚では温かさや親しみを感じますが、上の世代ではそうではないということを知りました。(六鹿直樹)

<お詫びと訂正>

8月10日号の定期便に封入したイベントチラシ「里山を歩きましょう」の開催日時に誤りがありました。混乱を招きましたことをお詫び申し上げます。

【誤】9月25日(水) → 【正】9月24日(水)

<登録情報に変更がある方>

愛知県被災者支援センターでは、愛知県受入被災者登録制度の登録票にご記入いただいた情報を基に、必要に応じた支援をしております。

登録情報に変更がある方(転居、世帯の一部転出・転入、ご出産等)がございましたら、お住いの市区町村の被災者受入担当窓口、もしくは愛知県被災者支援センターまでお知らせください。ご協力お願いいたします。

<表紙の絵を募集しています>

秋から冬にかけての絵を募集しています。(例えば、運動会、食欲の秋、紅葉など)絵の上手さは問いません。絵を送る際に、以下の5点について明記のうえメールまたはFAXにて送ってください。

- ① 絵のタイトル
- ② 絵の説明(30字程度)
- ③ お名前(実名・匿名・ペンネーム)
- ④ 学年または年齢
- ⑤ 保護者の方の連絡先(氏名・メールアドレスまたは電話番号)

表紙の絵、情報掲示板、ご意見・ご感想など、あおぞらに関する

<すべての宛先はこちら>

〒460-0001
名古屋市中区三の丸3-2-1
愛知県東大手庁舎1階
愛知県被災者支援センター
TEL : 052-954-6722
FAX : 052-954-6993
E-mail : aozora@aichi-shien.net



皆さまからのご意見・ご感想をお待ちしております!